

(資料) シンポジウム 発表者スライド

開会挨拶・趣旨説明

安原 真人

シンポジウム 平成26年度厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)

薬剤師が担うチーム医療と地域医療の 調査とアウトカムの評価研究

東京医科歯科大学
安原真人

2015.2.22 日本薬学会会長井記念ホール



平成26年度厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)

薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究 シンポジウム実行委員会

研究代表者 安原真人(東京医科歯科大学)
分担研究者 佐々木 均(長崎大学病院)
長谷川洋一(名城大学薬学部)

研究協力者
赤川圭子(昭和大学薬学部) 有澤賢二(日本薬剤師会)
奥田真弘(三重大学医学部附属病院) 川上純一(浜松医科大学医学部附属病院)
北田光一(日本病院薬剤師会) 齊藤真一郎(国立がん研究センター東病院)
鈴木洋史(東京大学医学部附属病院) 土屋文人(日本病院薬剤師会)
永江浩史(ながえ前立腺ケアクリニック) 中澤一純(日本医療薬学会)
狭間研至(ファルメディコ株式会社) 橋田 亨(神戸市立医療センター中央市民病院)
舟越亮寛(亀田総合病院) 古田勝経(国立長寿医療研究センター)
松原和夫(京都大学医学部附属病院) 宮崎長一郎(日本薬剤師会)
森 昌平(日本薬剤師会) 吉山 友二(北里大学薬学部)

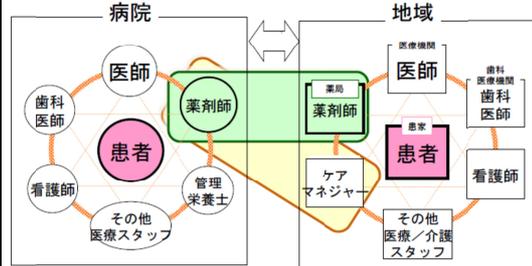
チーム医療

医療に従事する多種多様な医療スタッフが、
各々の高い専門性を前提に、目的と情報を
共有し、業務を分担しつつも互いに連携・
補完し合い、患者の状況に的確に対応した
医療を提供すること

チーム医療の推進に関する検討会報告書(平成26年1月31日)

<医療機関の場合>

<在宅医療(地域医療)の場合>



目的

チーム医療の進展や地域医療の拡充
に向けて、薬剤師の担う役割を明確に
し、求められる専門性を活かすための
実践的方法論を確立すること

研究計画

- 日本医療薬学会を母体とする調査研究
- チーム医療推進分担研究(佐々木班)
- 在宅(地域)医療・かかりつけ薬局推進
分担研究(吉山班)⇒(長谷川班)

シンポジウム 社会医療法人社団日本薬剤師会主催 医薬情報・アウトカム・臨床研究推進

薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究

日時：2月16日(日)
13:00~16:00
会場：日本薬学会 長井記念ホール

講演

- 「薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究の概要について」
東京薬科大学大学院薬学研究科 安 宗 貴 人
- 「医師と薬剤師の合意に基づく処方提案と電子カルテ機能」
神戸市立医療センター中央市民病院 橋田 亨
- 「経口分子標的薬における薬剤師外来有用性の検討」
株式会社国立がん研究センター 長谷川 由香
- 「救命救急センター・ICU(集中治療室)におけるチーム医療」
国立がん研究センター 長谷川 由香
- 「地域医療情報ネットワークを活用する薬局・薬剤師」
徳島県薬剤師会 渡部 長一 郎
- 「薬局の求められる機能とあるべき姿」
徳島大学薬学部 宮 山 英 二

日本薬学会 長井記念ホール
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
日本薬学会 長井記念ホール 受付係
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
日本薬学会 長井記念ホール 受付係
TEL 03-3456-0787

チーム医療推進分担研究

- ・プロトコルに基づく薬物治療管理(PBPM)
- ・チーム医療によるアウトカム評価
医療の質
安全性
経済性
医療従事者の負担軽減
- ・日本病院薬剤師会による実践事例収集
- ・日本薬剤師会による実践事例収集

在宅(地域)医療推進分担研究

- ・かかりつけ薬局機能をもった在宅医療提供薬局を推進するための新たな基準作成

↓

薬局の求められる機能とあるべき姿
(平成26年1月)

- ・地域包括ケアシステムの中でセルフメディケーションの推進に資する薬局のあり方について調査・検討

薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究 シンポジウムプログラム

講演1 医師と薬剤師の合意に基づく処方提案とそのアウトカム
橋田 亨(神戸市立医療センター中央市民病院)

講演2 外来化学療法ホットライン、薬剤師外来の有用性
齊藤真一郎(国立がん研究センター東病院)

講演3 癌治療における合意されたプロトコルに基づく薬剤師介入による処方提案と創薬環境整備の有用性
古田勝経(国立長寿医療研究センター)

講演4 PBPMによる臨床アウトカム
松原和夫(京都大学医学部附属病院)

講演5 薬局薬剤師が取り組むチーム医療—介護施設におけるがん薬物治療管理—
沃間研至(ファルマメディコ株式会社)

講演6 過活動膀胱・貼付剤治療で導入した地域PBPMのアウトカム評価
永江浩史(ながえ前立腺ケアクリニック)

講演7 セルフメディケーションの推進のための薬局の機能
長谷川洋一(名城大学薬学部)

薬物療法におけるPKとPDの関係

Pharmacokinetics (PK) Pharmacodynamics (PD)

The flowchart illustrates the process: Dosage leads to Plasma Concentration, which then acts at the Site of Action to produce Effects. Below this, a graph for PK shows Concentration on the y-axis and Time on the x-axis, with a curve that rises to a peak and then declines. A second graph for PD shows Effect on the y-axis and Concentration on the x-axis, with a sigmoidal (S-shaped) curve that levels off at higher concentrations.

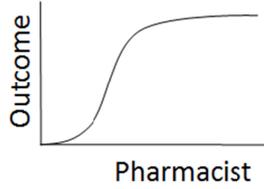
$$\text{Effect} = f(\text{Dose})$$

$$\text{Effect} \propto \text{Drug exposure}$$

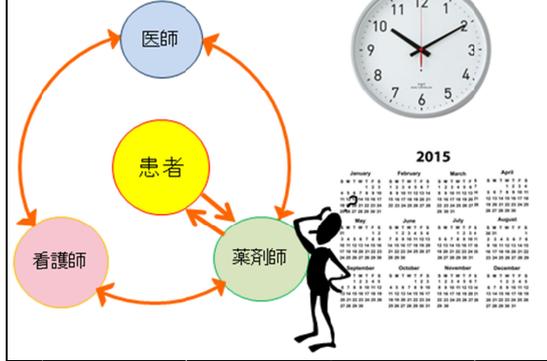
The graph plots Effect on the vertical axis against Concentration on the horizontal axis. The curve starts at the origin, rises steeply, and then levels off, forming a characteristic sigmoidal shape that represents the relationship between drug concentration and its effect.

薬剤師が担うチーム医療のアウトカム

Outcome = f(Pharmacist)
 Outcome ∝ Pharmacist exposure



チーム医療



薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究

平成25～27年度厚生労働科学研究費補助金
 (医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)



平成27年度: 実践的方法論

平成26年度: アウトカム評価

平成25年度: 先行事例収集

薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカムの評価研究

日時 2月22日(日) 13:00～16:30 会場 日本薬学会 長井記念ホール

- ① 医師と薬剤師の合意に基づく処方提案とそのアウトカム
岡山大学医学部薬学系 藤田 亨
- ② 外来化学療法ホットライン、薬剤師外来の有用性
国立がん研究センター東病院 薬務員一部
- ③ 専任治療における合意されたプロトコルに基づく薬剤師介入による処方提案と臨床現場の有用性
国立長崎大学病院センター 吉田 善経
- ④ PBPmによる臨床アウトカム
伊藤大学医学部附属病院 松原 和夫
- ⑤ 薬局薬剤師が取り組むチーム医療～介護施設における共同薬物治療～
ファルマコム株式会社 辻野 研一
- ⑥ 遠活動脈・結付用治療で導入した地域PBPmのアウトカム評価
鳥取大学医療ケアセンター 本江 浩史
- ⑦ セルフメディケーションの推進のための薬局の機能
鳥取大学薬学部 長谷川洋一